

## 野村グローバルAI関連株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

## 野村グローバルAI関連株式ファンドの足元の運用状況

## ポイント



1. 米金利上昇、そして地政学リスクの高まりによるリスクオフ
2. 過去の調整局面とファンドの特徴
3. AI(人工知能)はこれから大きく拡大が期待できるマーケット

## 1. 米金利上昇、そして地政学リスクの高まりによるリスクオフ

## 昨年末からマーケットの潮目の変化

当ファンドは設定来で世界株式指数を上回る運用実績をあげておりました。一方で、昨年11月半ば以降は軟調なパフォーマンスになっております。主な理由は2点です。1点目は、主要国でコロナ後の経済活動再開による急速な需要回復とサプライチェーンの混乱による供給制約を背景に想定以上にインフレリスクが高まったことで、金融政策正常化の動きが加速したことです。2点目はロシア/ウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりです。コモディティ価格高騰によるインフレ加速への懸念や、ロシアへの経済・金融制裁による各国の経済成長や企業業績への懸念が高まりました。このような環境下、株式市場では、特に中長期の成長期待が積極的に評価されてきた成長株のバリュエーション調整が進み株価が下落しました。当ファンドで最も多く保有している情報技術セクターは将来の成長期待が高い銘柄が多く、調整が大きくなりました。特に、当ファンドで保有している半導体関連の銘柄、売上成長率が高い一方で足元の決算が赤字の企業などの株価が軟調に推移しました。

## 野村グローバルAI関連株式ファンド(Bコース)のパフォーマンス

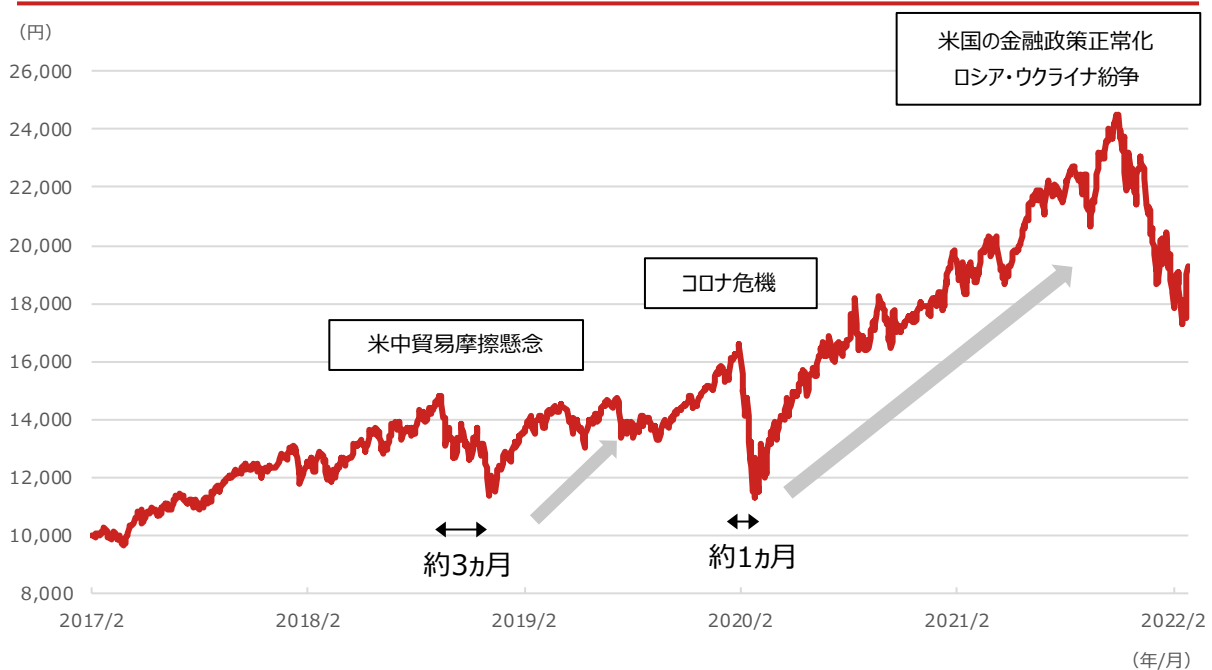


期間：2017年2月23日～2022年3月18日、日次、設定日（2017年2月23日）を100として指数化  
 世界株式指数：MSCIオール・カンTRY・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）当該インデックスは当ファンドのベンチマークではありません。  
 （出所）ブルームバーグ等を基に野村アセットマネジメント作成  
 基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 過去の調整局面とファンドの特徴

野村グローバルAI関連株式ファンド(Bコース)の基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2017年2月23日～2022年3月18日、日次  
基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。

### 過去の下落局面の振り返りと足元の運用状況

当ファンドの設定来、基準価額が20%以上下落した過去の調整局面を振り返ります。2018年秋ごろの下落相場では米中貿易摩擦や米国の利上げ継続などによって高値を付けてから約3か月間で約23%下落しました。2020年初頭のコロナ危機では約1か月間に約32%下落しました。しかし、いずれの場合も、底打ち後は下落前の基準価額の水準を回復、さらに上昇しました。

足元の下落の原因は、情報技術セクター、グロース株（成長株）への逆風です。一方で当ファンドの特徴は、情報技術セクターだけでなく、医療・ヘルスケアや産業関連など、幅広い分野に投資していることです。まだまだデータ化が遅れているヘルスケアセクターでは今後、患者情報などのデータが整備されることによって、AI（人工知能）が新薬の開発や予防医療、保険サービスの利便性の向上に活用されると期待されています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

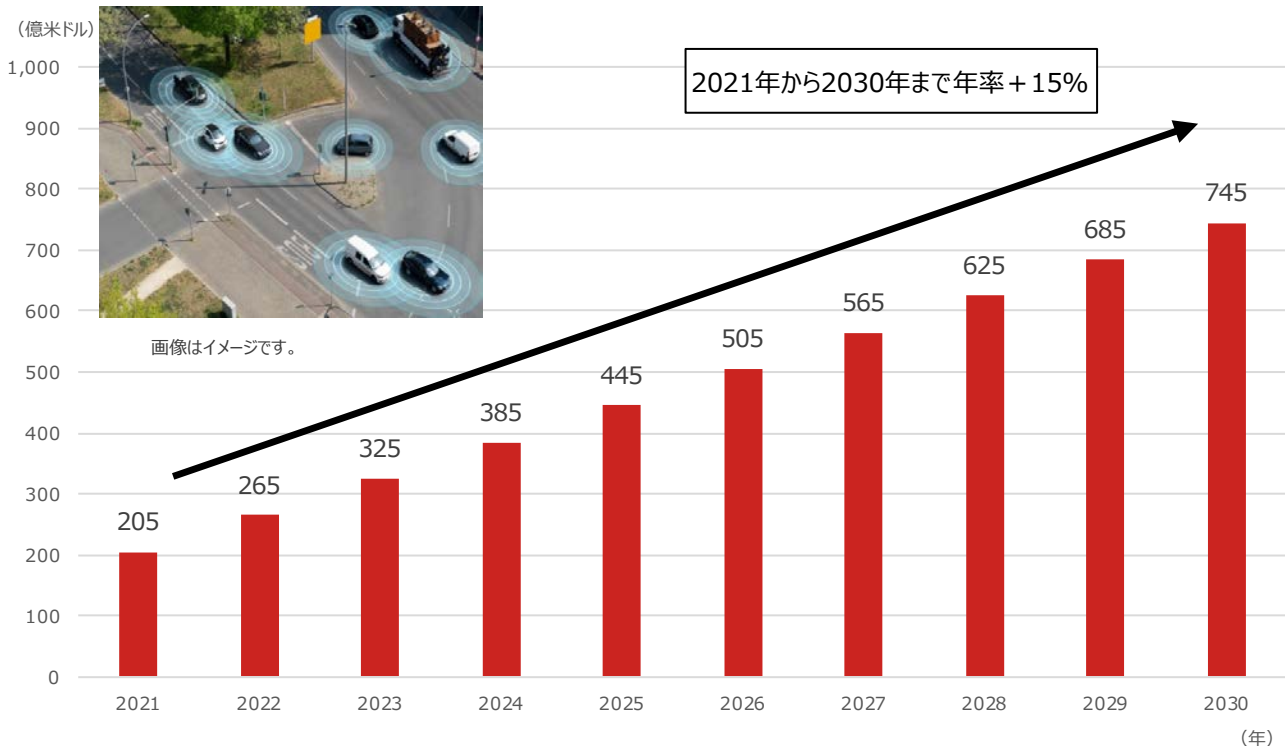
### 当ファンドの業種別配分(2022年2月28日時点)

業種	純資産比
情報技術	56.6%
ヘルスケア	14.2%
一般消費財・サービス	9.6%
資本財・サービス	6.9%
コミュニケーション・サービス	3.9%
その他の業種	2.6%
その他の資産	6.2%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

### 3. AI(人工知能)はこれから大きく拡大が期待できるマーケット

#### 自動車向けAI(人工知能)の世界市場規模予測



期間：2021年～2030年、年次 2021年からNext Move Strategy Consultingによる予測  
(出所) Statistaデータを基に野村アセットマネジメント作成

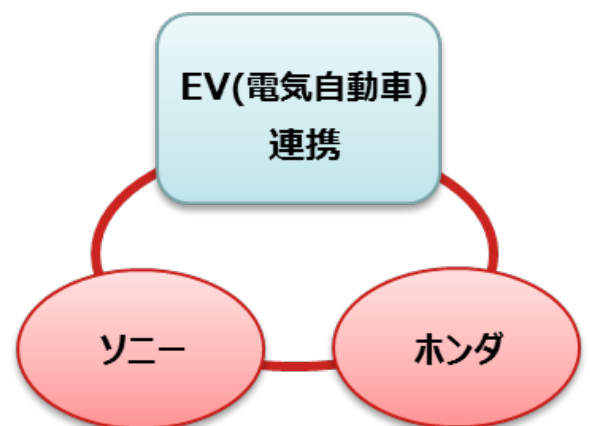
#### いよいよ実用段階に入ってきた自動運転

AIが活用される市場はこれからも大きく拡大すると予想されています。例えば大手自動車会社が自動運転への取り組みを本格化させてきたことで、自動車向けAI産業は今後年率15%で拡大し、2030年には745億米ドルになると予測されています。(Next Move Strategy Consultingによる予測)

日本でもEV(電気自動車)連携を大手企業が進めています。例えばホンダとソニーグループは電気自動車開発において連携すると発表しました。自動車がいわば一つの「エンタメ空間」になる事で異業種の連携がこれからも拡大していくと考えられ、AIが活躍する場所はこれからはますます増えていくと考えられます。当ファンドでは引き続きAIに関連する企業を発掘し投資してまいります。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 日本でもEVなど異業種の連携が加速



画像はイメージです。

(出所) 各社ホームページ等の情報に基づき野村アセットマネジメントが作成  
(注) 上記の内容は、電気自動車に関わるテーマや企業の取り組みなどをご紹介します。取上げた企業を当ファンドが保有しているとは限りません。また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## ファンドの運用状況

### Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額の推移

期間：2017年2月23日（設定日）～2022年3月23日、日次



### Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額の推移

期間：2017年2月23日（設定日）～2022年3月23日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

#### <当資料で使用した指数について>

世界株式指数：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース※）

※米ドルベースの指数をファンドの為替評価基準に合わせて弊社が円換算

#### <当資料で使用した指数の著作権等について>

●MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国のAI(人工知能)技術関連の株式(DR(預託証券)<sup>※1</sup>を含みます。)を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
  - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
  - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
    - ・償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)および不動産投資信託証券(REIT)ならびに企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証券も含まれます。
- 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野<sup>※</sup>の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
  - ※ 当面は、主なAI関連分野として「IT関連(フィンテック、ソフトウェア、セキュリティ等)」、「産業関連(IoT、ロボット、自動運転等)」、「医療・ヘルスケア関連(新薬、機器、新治療法開発等)」に注目します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年5月および11月の14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
  - \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2027年11月15日まで(2017年2月23日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則5月および11月の14日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ロンドン証券取引所・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

(2022年3月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.705%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
 一般社団法人日本投資顧問業協会/  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース／Bコース

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
LINE証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3144号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。